

KANAGAWA HOHYUH CLUB  
神奈川放友会  
Newsletter



Vol. 3 No.4 Oct. 2010  
第12号

<b>神奈川放友会</b>	
〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地 ストーク伊勢佐木1番館501号	
TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578	
発行人	長谷川 武
発行日	2010年10月15日

### 3年が経過して思う

神奈川放友会会長 長谷川 武

神奈川放友会は、創立後丸三年が経過した。石の上にも3年と言うが、何か創立の目的・目標が活動の中に見えて来ているのだろうか。

執行役を預かって、自分では老骨に鞭を打ちながら、役員支援を得て頑張ってきたつもりでいる。しかし、3年間の節目の中で振り返って見ると、何が出来つつあるのか、いやたいした意味のない同好会なのか。

改めて創立時の趣意書の文言を熟読し、当時を呼び起こしてみると会の創立の目的は次の3項目が柱である。

1) 会員の情報交換 2) 放射線技師会運営に対する意見具申 3) 21世紀の医療と福祉を支える会の支援を掲げたものであった。

また、神放技に於いては退会者が増えているが、席を置いた人達に何らかの繋がりを持ちたい。更には、日放技の政治活動の一翼を担う集団が、神奈川県放射線技師会の活動支援として必要であると認識されていた。

気軽に集まり「過去を語り、現在を語り、未来を語る」をスローガンとして、憩いの館を想定して来たので、放射線技師職だけでなく放射線業務に関連する技師以外の方達も10%弱が会員として登録されている。

会の趣旨に賛同した登録者は116名になった。しかし、3年間の成果は、どう理解すればよいのだろうか。

また、皆様はどう評価されるのだろうか。意見を寄せて欲しい。是非、お願い申し上げたい。

これまでの活動の中味を見ると、その1は、「神奈川放友会 Newsletter」年4回の発行によって、会員への情報の提供と共に情報交換の広場として、予定通りの活動の基礎を進めてきた。但し、会費の負担がないので、郵送料の確保のために購読料年間500円を頂いている。

その2は、神放技への意見具申の項目である。神放技のOB的な立場と放友会代表として委員会へ参加したり、連絡会議を行って意見交換をしてきた。

その3は、語り合う場づくりのために、イベント企画を実行して来た。参加し顔を知り気軽に語り合う場だ。

その4は、出版物の刊行がある。これは大きな成果だったと自負したいところだが、経費の負担が著者に重荷になっているが、反省しながら支援事業として温存したいものだ。余は、会員の希望する出版計画を支援する体

制を取ればよいと思う。

その5は、国政選挙を2度迎えたが、日放技・神放技からの連絡体制が不十分なのか、活動自体が軟弱なのか、21世紀の医療と福祉を支える会の支援については、行動は何一つなかった。

最後にもう一項目を記すならば、「クリニック等における放射線業務の支援」を掲げた検討が始まりつつあることである。

次に、会員の意見を「はがきによる意見」を拾ってみると、①気軽な身近な放友会 ②情報発信を願う ③ニュースレターに感心あり ④政治的な活動もある。

「放談会の集い」での意見を拾ってみると①情報交換の場作り ②一人勤務者部会の情報交換場所の設定 ③クリニック等の機器管理・放射線安全管理・相談窓口の設置 ④求人情報の発信とフォロー体制の整備がある。

これらを端的にまとめてみると

- 1) 気軽な身近な「神奈川放友会」であってほしい
- 2) 定期的なニュースレターを発行して欲しい
- 3) 放射線業務支援サービスの整備を願う
- 4) 政治的な活動の足がかりをも考えよ

と理解している。

会員からの要望意見は理解できるが、「神奈川放友会」組織として具体的にどれだけのことが出来るのだろうか。会の大きな欠点は、活動費が無いことだ。

会費が無いので浄財を頼りにしているが、神放技や放友会理事等の浄財のご厚意を得て何とか取り持っている。

3年間を振り返り、「小さな活動ではあるが、神放技より好評価を得ている」ことで、持続をしたい。

会員の自由な建設的発言の期待と、今後とも益々のご支援を頂けるものと理解し、本会の持続をお願いしたい。

また、人身一新によるリーダーを考慮に入れ、若い先鋭な発想を取り入れて、神奈川放友会の発展を願いたいものである。気楽で気軽な中にも、実益のある「実のある同好会」になって欲しいと願う。

「神奈川放友会は、あなたの手で育てよう !!」

皆さんで行動すれば、其れなりの効果は得られるものと思っている。

一人で見える夢でなく、みんなで見れば実現するだろう。



平成 19 年 4 月 1 日の医療法改正で対象となった

無床診療所での「医療の安全管理体制整備」支援について

「医療の安全管理体制整備」支援有志の会  
早瀬 武雄

**医療安全対策支援** 平成 22 年 4 月 4 日 (土) に行われた第 3 回 神奈川県放友会総会そして「放談の集い」で会員からの多くの意見がだされたことは神奈川県放友会 Newsletter 第 11 号に掲載されている。

同じく Newsletter 第 11 号には「クリニック等における放射線業務の支援」を考える提言が掲載されており「1 人職場の放射線業務支援」等について多くの皆さんからのアイデアやご意見を頂き、それを議論して積極的に取り組みをしようではないかと提案されている。

クリニック等での 1 人職場に関係した医療法の改正が平成 19 年 4 月 1 日付けで施行された。それは、これまで病院・有床診療所に義務付けされていた医療安全管理体制が、無床診療所においても義務化され、診療所を含む医療機関に対し施設規模に応じた医療安全対策が求められるようになった。

この件について日本医師会は、平成 19 年 11 月に医療安全マニュアルを作成した。医師会会長は「平成 19 年 4 月 1 日、医療法の一部改正が施行され、医療機関に対する医療安全対策が条文化され、義務化されました。また、医師法の改正により、医師に対する行政処分の類型が変わるとともに、医業停止等の処分を受けた医師は、再教育を受けなければ医業に復帰することができなくなりました。いわゆる医療事故に関する報道も、相変わらずマスメディアを賑わせています。このように、医療の安全に対する社会の関心は高まる一方であり、医療の質の向上や、医療安全対策の推進・普及は国民の希求であります。われわれ医療従事者は、可能な限り医療事故の発生を回避するという努力を継続していかなければならない。もちろん、各医療機関でも安全・安心な医療のための理念をもとに日々努力していることと思います。しかし理念だけでは安全な医療は提供できません。今、医療現場に本当に求められているのは、実効ある事故防止対策の実践だと考えます。」と述べられており、その対策の重要性を指摘している。

ここにきて医療安全対策が無床診療所をも対象にしたことは医療安全対策の充実であり、クリニック等で働く診療放射線技師には業務負担が生じるとともに、診療放射線技師が勤務していないクリニック等では、この医療安全対策への対応が混乱するのではないかと危惧するところではありますが、医療従事者として国民から信頼される医療実現のために役割を果たすことが求められている。

現在の医療安全対策は病院規模施設が中心であり、平成 22 年 3 月に報告された第 8 回画像医療システム等の導

入状況と安全確保に関する調査報告書では全国の 460 施設の病院で医療機器安全管理者の設置が 85%。医療機器の保守管理計画の策定をしている施設が 77%でありました。病院規模施設での現状を考えると無床診療所での対応が実現されるのは厳しい数値だと思われます。医師会会長が述べられているように、「理念だけでは安全な医療は提供できません」具体的な対応が期待されており、われわれ診療放射線技師が積極的な係りを持って医療事故防止対策を実践して行く必要があります、クリニック規模施設に勤務する診療放射線技師にはこれを機に医療安全対策を見直し積極的に対応し、この分野の専門家としての存在を示す絶好の機会である。

**勤務実態調査** 今回の医療法改正により医療安全対策が無床診療所までも対象になり、その支援を考えると放射線業務が行われているクリニック規模施設の把握、そこに勤務している診療放射線技師の実態がどうなっているのか調査をする必要があると考えました。

正確な調査が必要ですが、大掛かりな調査を行うことができなかったため概況把握として技師会会員状況 (平成 21 年 3 月末日現在) から解析推測した。

技師会会員数は 1,664 名、自宅会員・県外施設勤務会員を除くと 1,451 名である。会員勤務の総施設数は 406 施設、その内、県外施設が 62 施設。従って、県内 344 施設に会員が勤務している。会員が 1 名勤務している施設は 169 施設であった。1 名勤務している 169 施設中、病院規模の施設が 65 あり、クリニック規模相当の施設で 1 名勤務している施設は 104 であった。

放射線技師の勤務実態調査 (2009. 03)

1 名会員施設

施設数 169 施設 (総施設数 344 施設の 49.1%)  
会員数 169 名 (総会員数 1451 名の 11.6%)

クリニック規模相当

施設数 104 施設 (総施設数 344 施設の 30.2%)  
会員数 104 名 (総会員数 1451 名の 7.2%)

2~5 名会員施設

施設数 105 施設 (総施設数 344 施設の 30.5%)  
会員数 322 名 (総会員数 1451 名の 22.2%)

6~10 名会員施設

施設数 30 施設 (総施設数 344 施設の 8.7%)  
会員数 225 名 (総会員数 1451 名の 15.5%)

11 名以上会員施設

施設数 40 施設 (総施設数 344 施設の 11.6%)  
会員数 735 名 (総会員数 1451 名の 50.7%)



今回の調査では会員 1 名勤務の施設が多かったことがわかった。中でも明らかに 1 名勤務であろうクリニック規模相当施設が 104 施設あった。

**人材支援体制** 1 名勤務のクリニック規模相当の施設では休暇や緊急な休み等の取得も難しく勤務されている現状だと思われる。実態調査をしたわけではなく推測の域であるが、医療機関が土曜日・日曜日が休みとなっている週休 2 日の医療機関は国立病院だけのようである。公立に準じる病院や民間病院の多くは土曜日は午前中の診療、即ち、15 時ごろまで勤務している現状である。又、クリニック規模の施設では 9 時～12 時・15 時～18 時頃まで開業している施設が多くある。このクリニック規模相当施設の職場環境や勤務体制等に意見・要望を取り入れた活動が必要であると思う。(「クリニック等における放射線業務の支援」を考える趣旨)

平成 21 年 3 月末日現在、技師会会員数は 1,664 名で、60 歳以上の会員が 137 名である。平成 20 年度に 60 歳を迎えた会員は 31 名。平成 21 年度からの 5 年間に 42 名、36 名、30 名、29 名、25 名の会員が 60 歳を迎えと予想される。60 歳の会員が総て定年として退職されるとは限らないが、多くの会員が 1 つの区切りとなる時期であり、この時期多くの会員が退会される。永年、医療界において多くのことを経験し診療放射線技師として活躍されて

こられた会員が 60 歳で職を辞するとしたら大変惜しいことである。

現役時代の経験を後輩にご教授いただけたら喜ばれる会員が多くいることであろう。今迄、何名かの先輩は職場を異動し後輩の指導をしてくださった経過がありますが、これほどまで多くの会員が毎年 60 歳の節目の年を迎えとなると、本格的な先輩技師の「活躍の場創設」を考えても良いのではないだろうか。

今回、有志により「無床診療所における医療安全対策支援」をどの様に考えるか 2 回の話し合いをした。そこでの意見は、この支援活動の意義を多くの人たちに知っていただく広報活動が必要であるとの認識でした。多くの皆さんに意見を述べていただき参加して下さることを期待している。

また、「クリニック等における放射線業務の支援」についても一緒に論議して何らかの向上を図ればよいのではないかと考える。この件についても多くの皆様のご意見をお寄せください。

**[ 意見宛先 ]**

「医療の安全管理体制整備」支援有志の会  
「FAX」か「封書」で神奈川県放射線技師会事務所内の上記宛にお寄せください。

**神奈川放友会 箱根周遊の旅**

☆ 秋の 1 日をのんびり楽しもう ! ☆

[ 主 催 ] 神奈川放友会/地域放射線技師会連絡協議会 [ 後 援 ] (社) 神奈川県放射線技師会



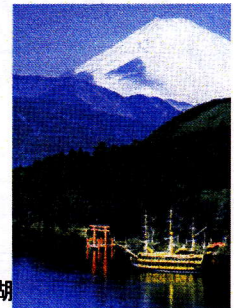
小田原



強羅



早雲山・大涌谷



芦ノ湖

1. 日 時 平成22年10月24日(日) (午前 9:00 ~ 午後 3:00) 小雨決行  
集合場所: JR小田原駅(7・11番線ホームの待合室前)午前 8:45 分

2. 行 程 小田原 → 強羅 → 早雲山 → 大涌谷 → 桃源台  
→ 箱根町 → 箱根湯本 → ホテルおかだ → 箱根湯本(解散)

箱根登山バス・箱根登山電車・ケーブルカー・  
箱根ロープウエー・芦ノ湖海賊船・・・乗り放題

ランチタイム 箱根湯本の「ホテルおかだ」でランチバイキングを賞味  
同地で温泉入浴

3. 会 費 箱根フリーパス 3,900円(子ども・1,000円)  
ランチバイキングと入浴料 2,900円(子ども・1,300円)  
(内・入浴料 700 円・子ども入浴無料)

4. 申込み 神奈川放友会事務局 [ TEL 045 - 681 - 7573 ]

または 神奈川放友会役員まで  
231-0033 横浜市中区長者町 4-9-8  
ストーク伊勢佐木 1 番館 501  
神奈川県放射線技師会事務所内



箱根湯本



# 小田原ういらう

## — 透頂香 —

### 川崎市高津区 関口 栄次

JR 小田原駅東口に出て、右側に海産物の土産店がならぶ5軒先に和菓子「ういらう」を専門に扱う店があり、喫茶室も兼ねているのでそのれんをくぐってみた。

早速「ういらう」を所望したと所、抹茶の入った古風な大きな茶碗が出された。「ういらう」その味は、うす甘で素朴で淡泊な味合いでしかも上品さを感じさせる。原料は米粉・餅粉・砂糖で造られている。ご存知名古屋のういらうもありますがここで云う「ういらう」は小田原です。（「ういらう」と書いて「ういろう」と読む）

### ういらうの由来

私の目的は、和菓子の「ういらう」と菓の「ういらう」の由来を知ることです。この喫茶室は菓を販売しておらず、店員さんの案内で、小田原城を右に見て外堀り通りを散策しながら歩いて行くと、八方が八ツ棟、表が三ツ棟玉堂造りの「ういらう」館に着く。



ういらう館 表が三ツ棟



ういらう館 八方が八ツ棟

見てびっくり、高い外壁こそないが、概観は小田原城の天守閣より立派に見えた。早速入ってみると、正面に和菓子「ういらう」のショーケース、左側に菓「ういらう」を菓剤師が販売していた。菓名はういらう一透頂香一とある。館の資料によると約六百数十年前、室町時代に逆上る。

「ういらう」とは、外郎家（ういらうけ）の姓で、外郎家二代目外郎宗奇（そうき）が自ら造って客の接待に供したと云われている。

### 家伝の靈宝丹が透頂香

外郎家の先祖は、陳延祐（ちんえんゆう）と云い、現中国浙江省の人で、元の順宗皇帝のとき、大医院並びに礼部員外郎（れいぶいんういらう）と云う医者役職名であったと云われている。元の滅亡と共に日本に帰化し、中国での役職名、礼部員外郎をとって役職名と区別するため、「外」の字を「うい」と名乗った。その後、陳延祐は博多で生涯を閉じ、その子二代目宗奇が朝廷に仕え、初代延祐の持参した家伝の菓「靈宝丹（れいぼうたん）」は朝廷に珍重され、引き続き二代目宗奇がこの菓を処方し、天皇から「透頂香（とうちんこう）」と名付けられた。

時は移り、明応4年(1495)に小田原を平定した北条早雲は、永正元年(1504)に京都から五代目外郎宇野藤右衛門定治（さだはる）を招き、朝廷との外交役を務めさせた。豊臣秀吉がやがて天正18年(1590)に北条家を滅ぼした時に、外郎家だけは特例で小田原に残され、以後、外郎家は菓を一般に売り出し、医菓の方に専念し小田原のために尽くしたと云われている。

### 市川團十郎の「外郎売」台詞

やがて江戸時代に移り、享保元年(1716)八代將軍徳川吉宗の時、当時の歌舞伎俳優二代目市川團十郎は、持病のせきと痰のために台詞（セリフ）が云えず舞台に立てず困っていた。その時、この菓「ういらう」のことを知り、この「ういらう」を服用し全快したと云われる。その礼として作られたのが「外郎売」の台詞があり、外郎家の許可を得、市川家十八番（おはこ）の内に入れ舞台化し、享保三年(1718)の江戸時代から平成の今日まで代々継承され乍ら上演されている。

私は、この「外郎売」の台詞（セリフ）を知ったのは、たしか昭和24年(1949)中学3年の頃で、当時の新劇俳優・演出家であった俳優座の千田是也著「俳優術」の巻末に「外郎売」のセリフがのっていたのでこの本を購入



し、私なりに一生懸命読み覚えるのだが、なにせセリフが長いので台本を手離すまで1年位かかりましたが、やっと自分なりに節をつけて表現出来るようになった。

さてこのセリフの全文を読み易く、プロローグとエピソード組み合わせ（構成）で表現したいので、みなさんも一緒に声を出して読んでみて下さい。

## [ プロローグ ]

拙者親方と申すは、御立ち合いのうちに御存じのお方もござりましょうが、お江戸を立って二十里上方、相州小田原一色町をお過ぎなされて青物町を登りへお出でなさるれば、欄干橋（らんかんばし）虎屋藤衛門、只今は剃髪いたして円齋と名乗ります。



外郎売

元朝より大晦日（おおつごもり）までお手に入れますこの薬は、昔ちんの唐人ういらうと云う人、我が朝にきたり。帝へ参内（さんだい）の折から、この薬を深くこめ置き、用ゆる時は一粒づつ冠（かんむり）の透間（すきま）より取り出だす。依ってその名を帝より透頂香（すきま）と給はる。即ち文字には透（す）き頂（いただ）く香（におい）と書いて「とうちんこう」と申す。

只今は、この薬、ことの外世上に弘（ひろ）まり、ほうぼうに偽（にせ）看板を出だし、イヤ小田原の灰俵のさん儀のといろいろに申せども、平仮名をもって「ういらう」と致せしは親方円齋ばかり。もしや御立ち合いのうちに、熱海か塔ノ沢へ湯治にお出でなさるるか、又は伊勢御参宮の折からは必ず間違いなされますな。お上（のぼ）りならば右の方、お下りなれば左側、八方が八棟（やつむね）、表が三ツ棟玉堂造り、破風には菊に桐のとうの御紋を御赦免（しゃめん）あって、系図正しき薬でござる。

イヤ最前より家名の自慢ばかり申しても、御存じない方には、正身の胡椒（こしょう）の丸呑み、白川夜舟。さらば一粒たべかけてその気味合をお目にかけてませう。まずこの薬をかように一粒舌の上へのせまして腹内へ納めますると、イヤどうもいへぬは、胃・心・肺・肝がすこやかになって薫風咽喉（くんぷうのんど）より来たり、口中びりょうを生じるが如し。魚、鳥、木の子、麺類の喰合せ、その外萬病即効あること神の如し。

さてこの薬、第一の奇妙には、舌の廻ることが銭（ぜ



小判横絵 小田原 外郎売 葛飾北斎

に）ごまがはだして逃げる。ひよっと舌が廻り出すと、矢も楯もたまらぬじや。そりやそりや廻って来たわ、あわや咽喉（のんど）。

（これより早口言葉が徐々に早く回転する）

- さたらな舌にかけさしおん、はまの二ツの唇（くちびる）の軽重（けいちょう）
- かいこうさわやかに、あかさたな、はまやらわ、おこそとの、ほもよろを。
- 一ツへぎへぎにへぎほし、はじかみ、盆まめ盆米ぼんごぼう。
- つみたてつみ豆つみ山椒（さんしょう）書写山の社僧正（しゃそうぜう）。
- ごとめのなま喃（がみ）、小米のなま喃、こん小米のこなまがみ。
- 繻子（しゆす）ひじゆす繻子繻珍（しゆちん）。
- 親も嘉兵衛、子も嘉兵衛、親嘉兵子嘉兵、子嘉兵親嘉兵。
- 古栗の木ふる切口、雨合羽かばん合羽か、貴様の脚絆も皮脚絆、我等の脚絆も皮脚絆。
- しっかわ袴（ばかま）のしっぼころがを三針なちよとぬうて、ぬうてちよとぶんだせ、かはら撫子野石竹（なでしこのぜきちく）
- のら如来のら如来、みのら如来、むのら如来。一寸（いっすん）のお小佛（こぼとけ）におけつまずきやるな、細溝にどじょうによろり。
- 京のなま鱈（だら）、奈良なま学鯉（なまがつお）ちよと四五貫目。
- おちや立ちよ茶立ちよ、青竹茶筌（ちゃせん）でお茶ちやと立ちや、来るわ来るわ何が来る、高野の山のおこけら小僧。
- 狸百疋箸百ぜん、天目百ばい棒八百本、武具馬具ぶぐぼぐ三ぶぐぼぐ、合わせて武具馬具六ぶぐぼぐ。
- 菊栗きくくり三きくくり、合わせて菊栗六きくくり。
- 麦ごみむぎごみ三むぎごみ、合わせて麦ごみ六む



ごみ。

- ・ あのなげしの長薙刀 (ながなぎなた) は誰 (た) が長薙刀ぞ。
- ・ 向こうのごまがらは荏 (え) の胡麻殻か真胡麻殻か、あれこそほんの真胡麻殻。
- ・ がらびいがらびい風車、おきやがれこぼし、おきやがれこぼうし、ゆうべもこぼして又こぼした。
- ・ たあぶぼっぼ、たあぶぼっぼ、ちりからちりからつつたば、たっぼたっぼ一丁だこ。
- ・ 落ちたら煮て食 (く) も、煮ても焼いても喰はれぬものは、五徳、鉄きゅう、かな熊童子に石熊、石持、虎ぎす、中にも東寺 (とうじ) の羅生門には、茨木童子が、うで栗五合、掴 (つか) んでおむしゃるかの頼光 (らいこう) の膝 (ひざ) 元去らず。
- ・ 鮎きんかん、椎茸、定めてごたんな、そば切りそうめん、うどんか愚鈍 (ぐどん) なご新発地 (しんぱち)。
- ・ 小棚の小下 (こした) の小桶に小味噌がこあるぞ、こ杓子 (しゃくし) こもって、こすくってこよこせ、おっと合点だ。

### [ エピローグ ]

心得たんぼの川崎、かな川、ほどがや、とつかを走って行けば、灸 (やいと) を摺 (す) りむく三里ばかりか、藤澤、平塚、大磯ががしや小磯の宿を、セツ起きて早天そうそう、相州小田原透頂香、隠れござらぬ、貴賤群衆の花のお江戸の花ういらう、あれあの花を見て、お心をお和 (やわ) らぎやという。産子這子 (うぶこはうこ) に至るまで、このういらうの御評判、御存じないとは申されまい。まいつぶり、角出 (つのだ) せ棒出せぼうぼう眉に、臼杵播鉢 (うすきぬすりばち)、ばちばちぐわらぐわらぐわらと、羽目を外して今日御出の何 (いず) れ様に、あげねばならぬ売らねばならぬと、息せい引張り東方世界の薬の元締、薬師如来も上覧 (じょうらん) あれと、ホホウやまって「ういらう」はいらっしゃりませぬか。

享保三年正月(1718)森田座にて

二代目 市川團十郎 自作自演

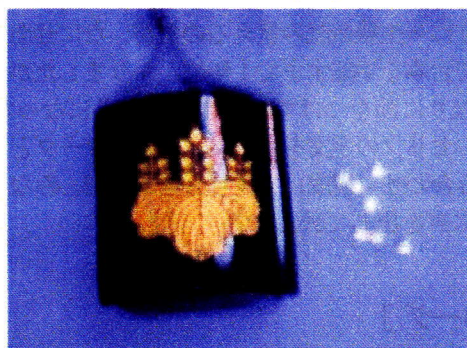
### 薬ういらう(透頂香)の効能は

#### 「特長」

古来の製法による純正生薬製剤で、化学剤の如き副作用、習慣性がない、鎮痛剤や麻痺剤含まず、腹痛胃痙攣等の痛みを速やかに止める。薬型は、極小球円形で遠地に赴く際、携帯すると便利である。

#### 「効能」

胸腹痛・胃痛・食中毒・頭痛・嘔吐・感冒・気管支炎・咽頭炎・日射病・高山病・心臓病・心悸亢進・心臓補強・



これが薬の外郎。印籠も外郎さんで売っているもので、朝廷から使用を許された「五七の桐」の御紋り。

強壯・歯痛・酒の悪酔・宿酔・その他急病に用いて良好あり。

(“株) ういらうの効能書”より)

「控えおろう! 控えおろう!! この紋所に目に入らぬか!」 お馴染み水戸黄門の角さんのセリフ。  
あの印籠の中に、この「ういらう」が入っていたかも知れませんか ?

### 台詞「外郎売」の効果は

新劇、歌舞伎の若手俳優を相手に発声・活舌法の基礎訓練に用いられている。

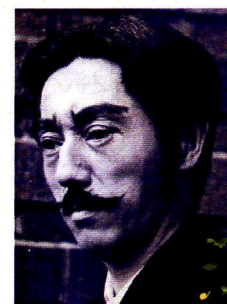
他スチュワーデス・バスガイド・アナウンサー・会社の営業マン等、自身の個性を十分に活かす意味で広く利用されています。

小田原市では、街おこしの一環として、幼稚園児から大人まで、それぞれグループを作り、市内で行われる色々なイベントに参加、この台詞「外郎売」を発表しているそうです。

ちなみに筆者の若い頃、「外郎売」の口上が自身の個性に自信を付けてくれました。

それが効をなして、平塚市民ホールで黒澤三吉作「真土村一揆」が上演された際に、明治時代の官憲天獄 (刑務所所長) の役を、客演として出演した思い出があります。

写真は、明治時代の官憲天獄 (刑務所所長) の役で出演した、思い出に残るその時のプロフィールです。



思い出のプロフィール

最後に、現 12 代目市川團十郎の息子、歌舞伎界のプロフェッショナルと云われている市川海老蔵が、この「外郎売」をどう継承されてゆくかを楽しみにしております。



平成 22 年度 神奈川県診療放射線技術講習会

主 催：神奈川県地域保健福祉部

共 催：(社)神奈川県放射線技師会

後 援：横浜市健康福祉局

会 場：横浜市西センター

年月日	9:30	午 前	12:00	13:00	午 後	16:00
平成 22 年 10 月 31 日 (日)	開 講 式	「サイバーナイフ治療」 ・サイバーナイフ治療 10 年の経験から 新緑脳神経外科サイバーナイフセンター センター長 佐藤 健吾 ・サイバーナイフの技術 新緑脳神経外科サイバーナイフセンター 放射線治療品質管理室 井上 光広		「頭部領域の画像診断」 ・頭頸部領域の診断に必要な CT 検査技術 北里大学病院 大関 祐介 ・頭頸部 MRI 検査の基礎 東海大学医学部付属病院放射線部 技術科 梶原 直		
平成 22 年 11 月 28 日 (日)		「老年医療」 ・認知症の鑑別診断における MRI と 核医学検査の役割 東海大学医学部基礎診療学系 画像診断学 准教授 橋本 順 ・老年看護 横浜市立大学医学部看護学科 老年看護学 准教授 服部 紀子		「乳房撮影」 ・デジタルマンモグラフィの 品質管理とモニターの動向 神奈川乳房画像研究会 石川 光雄		
平成 23 年 1 月 23 日 (日)		「婦人科領域の画像診断から治療へ」 ・画像診断 東海大学医学部付属病院 基礎診断学系 (画像診断学) 医師 山下 詠子 ・治 療 東海大学医学部付属病院 専門診断学系 (産婦人科学) 医師 池田 仁恵		「小児医療」 ・小児神経領域のポイント CT・MRI を中心に 神奈川県立こども医療センター放射線科 医師 丹波 徹 ・当センターでの小児単純X線検査と被曝管理 神奈川県立こども医療センター 放射線技術科 川崎 稔生		
平成 23 年 2 月 20 日 (日)		「骨撮影 1」 ・骨軟部領域の画像診断 聖マリアンナ医科大学放射線医学教室 講師 橋川 薫 ・骨密度測定 横浜市立大学付属病院 臼井 淳之		「骨撮影 2」 ・所見が見えやすい 単純X線撮影のポイント 川崎市立多摩病院 古川 博明 ・自然環境下における放射線測定調査事業 学校法人北里研究所 北里大学病院 上前 忠幸		閉 講 式

恒例となっている県主催による診療放射線技術講習会平成 22 年度開催プログラムが、去る 6 月に発表された。

かつては年 6 回の開催であったが、いつの年度からは年 5 回の開催になり、更に今年度は 4 回の開催日程となり講習内容が縮小されている。日進月歩の激しい医療技術の変化を理解する絶好の講習会が、年々縮小されることは現場にいる診療放射線業務者にとっては嘆かわしいと思うが如何なものだろうか。むしろ生涯教育として充実してほしい。

県内の診療放射線業務に携わる者は、この講習会で必ずや受講の利益を得ています。是非とも受講されて県内地域放射線医療のレベルアップのために、貢献して頂きたいものである。特に、神奈川県放友会会員の受講をお勧めする。



みんなの広場

# ツインジャー つぶやき

## 北村会長続投断念の挨拶に

### すかさず一人挙手で中澤靖夫会長が誕生

第 68 回日本放射線技師会定期総会が 6 月 5 日 (土) 午前 11 時より科学技術館サイエンスホールにて開催され、全ての議案が承認されると共に、平成 22・23 年度役員選挙が行われて候補者が全員選出された。

地域選出理事 15 名は選挙で、理事会推薦理事 16 名とプラス監事 2 名は信任投票により選出された。

また、翌日の 6 月 6 日 (日) 10 時より平成 22 年度第 2 回理事会が、日本放射線技師会事務所で開催された。

31 名の理事中 2 名が欠席したが、理事会開催のあいさつで北村善朗会長は「会の舵取りを後任に委ねたい」と会長職の続投を断念する旨を表明した。

次いで司会者は「代表理事を(会長)をどうするか？」理事に問うたところ、中澤靖夫理事一人が挙手され会長へ立候補する表明を行ったとのことである。

何か前触れがあり準備していたのだろうか？

北村会長の続投断念は、既成の事実だったのだろうか。

理事会では、会長立候補にあたっての「決意と方針」を述べるよう意見が出されたそうですが、中澤理事はすかさず間を入れず次の 3 項目を述べている。

- ・ 今まで以上の安心安全の医療の提供
- ・ 今まで以上の高い技術の提供
- ・ 今まで以上の高い患者サービスの提供

の 3 点を患者が医療界に求めているので、「技師会がおこなっていくべき事業の視点」と位置づけた意見を述べたそうである。その後採択が行われているが全会一致で承諾され、中澤靖夫会長が誕生している。

何か唐突に出た理事長選出劇に見えるが、呆気なく一人勝ちに終わったのではなかろうか？

戦略だったのか？ なりたい人を選ぶのではなく、させたい人を選びたいものだ。

理事会での理事長(会長)選出のプロセスは、こんな程度のものなのか。

また、副会長には、小川 清氏・井戸靖司氏が推薦され常務理事と共に、全会一致で承認されている。

神奈川県放射線技師会出身者としては、チーム医療担当の原口信次・編集広報担当の小野欽也の両氏が常務理事となった。また、専門官として森田立美氏・木村由美氏が新執行部に就任している。

「人は代われども、伝いは替わらず」神奈川からの技師会伝統の味が灯ってほしいものだ。期待したい。

チーム医療推進の上昇気流の中で、新執行部鮮鋭指導による取組が期待される。益々の活躍を願うものである。

## 横浜市救急医療セ・川崎市北部小児セの

### 休日夜間救急放射線支援業務がなくなった

神奈川県放射線技師会の公的事業の一つとして永年支援してきた、横浜市救急医療センター・川崎市北部小児センターにおける休日夜間救急業務の放射線業務支援があった。

横浜市は横浜市病院協会を通して又川崎市は地域医療課との契約の中で、横浜市では 3 月 31 日をもって契約が終了し、再契約はなくなった。また、川崎市においては平成 22 年 9 月末までの契約で、放射線支援業務は終わり成る。

両市とも経費削減の中で、横浜市病院協会から横浜市医師会への変更に伴う放射線支援業務の見直しがあった。川崎市においても川崎市北部病院の業務体制に組み込まれ、県放射線技師会との契約は停止された。

このことによって、県技師会の 22 年度予算計画は大きく縮小されている。

これまでは業務支援による収益が会の事業費として組み立てられていたが、これがのぞめなくなったのである。

神奈川県放射線技師会は会費と若干の補助金で運用されることになるのだろうが、年間 6000 円の会費でやって行けるのだろうか。

事業の縮小・経費の見直し等で、会費に見合った活動を行うだろうと思われる。また、会費の値上げによる活動費の確保が考えられるが、1600 余の会員を有する神奈川は、全国最低レベルの会費なので、他県の会費を参考した値上げが検討されるのであろうか・・・？

会員も事の重大さに理解を示され、支援体制を心得るべきです。

今後、どう展開されるのであろうか。みんなが真剣に考えるべき時が到来している。

おおいに意見を述べ合うべきでしょう。

また、執行部を信じて、その手腕にお任せすべき選択もあるでしょうね！

公益社団法人を目指す神放技は、腰を据えての指導力が問われることでしょう。

### [ 編集後記 ] ★ ☆ ★

神奈川放友会 Newsletter は、年 4 回の発行で創刊号以来丸三年が経過し、読者も倍以上に増えました。

これからも、ますます読者に応える努力をします。

ご指導ご支援をお願い致します。投稿を待っています。

今回は、「神奈川県乳房画像研究会の経過と経緯(その三)」は休みとし、次号に掲載させていただきます。」